

業務改善の実施状況報告

組織名	生産局農業生産支援課	連絡先	※問合せ担当者の直通電話番号のみ記載 別所 智博 直通：03 - 3502 - 5959
所管する業務の概要	水田等の有効活用、水田農業等の生産性向上、農作物の災害対策、農業生産資材の生産、流通及び消費の増進、改善及び調整、農業機械化の促進、鳥獣被害対策に関すること		

1. 職員の基本的な心構え・行動について	
・これまでの取組実績及び現在実施している取組	・今後の課題とその改善策
・接遇マニュアルを参考に、消費者、生産者及び事業関係者等に対して、正直、丁寧かつ親切な対応を心がけている。	・生産者や行政機関の方々からの問い合わせが多いが、今後ともできるだけ丁寧な対応を心がけ、国民をカスタマーとして捉え、常に担当する業務や施策の内容を理解していただけるよう努力する。 ・各担当の業務や施策に関する説明能力の向上を図るとともに、農政全体における位置づけや関連性などの中で説明できるよう努力する。
・外部の方々との意見交換を行う機会を大切にし、消費者、生産者、行政・事業関係者等の多様な主体の意見をできるだけ聴取するように心がけている。	・政策提案、政策要望、説明会、会議等のほか、電話やメールでの問い合わせ等、外部の方々との情報交換を行う様々な場面で施策に対するニーズを聞く貴重な機会と捉え、できるだけ時間を割いてお話を伺うとともに、こうした提案や要望、意見等を施策の検討に生かすよう努力する。
・施策立案に当たっては、国民の皆様への影響を常に意識するよう心がけている。	・施策の実行には、国民の皆様の血税が使用されており、国民の皆様は施策の必要性をご理解頂くことが肝要である。このため、国民の皆様に分かりやすい説明資料の作成に努める。

2. 国民視点に立った業務の遂行について	
・これまでの取組実績及び現在実施している取組	・今後の課題とその改善策
<p>2. 政策・事業（業務）等の企画立案・推進に関する取組</p> <p>・予算執行上、税金の無駄遣いを無くすことを意識しながら行動している。</p>	<p>・国民感覚に沿った業務運営が求められていることから、超過勤務縮減対策への取組の強化を図り、かつ、深夜までの勤務を極力無くすことなど、事務費の支出を抑制しながら、効率的に業務を遂行できるよう取り組む。</p> <p>・行政事業レビューの結果なども踏まえつつ、事業スキームの検討、予算執行の不断の見直しに努める。</p>
<p>・地方組織のカウンターパートにメールや電話で頻繁に連絡を取り、情報収集に努めている。</p> <p>・テレビ会議の活用により、効果的な情報交換、意思疎通を図っている</p>	<p>・地方組織等と引き続き密に連絡をとり、地方の実態をベースとした業務の実施を基本とする。</p> <p>・テレビ会議や掲示板等を積極的に活用し、地方組織と情報交換や意思の疎通を図る。</p>
<p>・地方からの質問様式を統一し、メールによる迅速なやり取りに努めている。</p>	<p>・掲示板の活用などにより地方の組織とは密に連携を図りつつ業務を進める。地方からの質問については、今後とも速やかに返答することを基本とし、その背景も確認した上で適切な回答に努める。</p>
<p>・関係部署のカウンターパートのところに直接出向いたり、メールや電話での連絡を密にするなど、意思疎通を図っている。</p>	<p>・口頭での連絡調整では、必ずしも当方の意図が正確に伝わらない場合がある。このため、後々の記録を作っておくという観点も踏まえ、重要事項については書面での伝達を行う。</p>
<p>3. リスク管理に関する取組</p> <p>・外部からの情報等により問題が生じる可能性がある場合には、関係する職員間で情報の共有化を図り、迅速な問題の分析・解消に努めている。</p>	<p>・リスクについては、速やかに組織の職員間で共有し、現場やデータ等を基に問題の実態を把握するよう努めてきた。今後とも、問題を迅速に共有し、早めに対策などを講じることを組織の文化として定着を図る。</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・職員に対して、ヒヤリ・ハット事例の紹介などを通じて、業務の見直しや手法等の改善に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリ・ハットの事例の活用は十分とは言えないため、特に課として共有することが必要と思われるもの等は、職場内でのミーティングの機会等を利用して、情報の共有化を進める。
<p>4. 食の安全に関する取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「食の安全」を常に意識するため、日々のテレビ・新聞報道や事故等の発生状況、その背景など情報の共有に努め、全職員で意識高揚を図る。 ・省内の一斉研修の全員受講に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「食の安全」に対する意識を高めるためには、今後とも不断の意識啓発が必要であることから、日々の報道や事故等の発生情報の共有や「食の安全」に関わる問題の情報共有に努める。

<p>3. 業務を適切かつ円滑に遂行するための職場環境づくりについて</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの取組実績及び現在実施している取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の課題とその改善策
<ul style="list-style-type: none"> ・課内での定期的なミーティングの開催や、上司からの日々の声かけにより、活気のある明るく風通しの良い職場となるよう努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き課内の定期的なミーティングの開催等により、意見等が言いやすい風通しのよい職場づくりを進める。 ・職員が使命感とモチベーションをもって業務に当たれるよう、職場のコミュニケーションの改善に努める。